

汎愛高校との練習試合 報告

7月12日(土)、汎愛高校弓道場にお邪魔して練習試合をさせていただきました。汎愛高校弓道部は、来週の近畿大会に出場を決めている伝統ある強豪校です。今までいっしょに練習したいと思いつつも声を掛ける勇気がなかったのですが、前回の大会のときに、汎愛高校の杉山先生から声を掛けていただき、この機会を逃すまいと、近畿大会を1週間後に控えたこの時期にお願いしました。



汎愛高校弓道場

この日は近畿大会を想定して、まず団体予選のイメージで1立しました。結果は、汎愛高校が16中、本校が13中でした。汎愛高校のいきなりの16中に、「やっぱり強い!」と感じました。本校も、ここ最近1立目の的中がボロボロの状態が続いていたので、この1立目を部員にかなり意識させました。今回の練習試合は、この1立のためにお願いしたといっても過言ではありません。結果は13中とまずまずでした。これで近畿大会の予選を通るかという微妙なところですが、いつも1立目が悪いというイメージは払拭できたのは大きいです。その後、決勝トーナメントを想定し、対戦形式で先攻後攻を入れ替えて2試合しました。結果は1勝1敗でしたが、内容は完敗でした。でも11中、10中という的中は、高的中ではありませんが、本校の悪い癖である7中、8中という低い中を出さずに踏ん張ることが出来たのはよかったです。



汎愛高校は女子団体も近畿大会に出場しますが、本校の女子が3名しかおらず練習相手になれませんでした。そこで男子の控え1名と“秘密兵器”の顧問宮原先生を加えての混合チームで対戦させていただきました。結果は、あまりたいした練習相手になれず申し訳なかったですが、個人で近畿大会に出場する本校女子の山田にとってはいい経験となりました。

道場がなく、5人団体での練習をすることができない本校にとって、この時期に団体練習ができたことは本当にありがたいことでした。この機会を与えていただいた汎愛高校に感謝し、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

さあ、いよいよ近畿大会です。今回、本校の悲願であった「団体」での出場が叶いました。近畿の強豪校に「大阪に英真学園あり」というところを見せたいと思います。まだまだ力不足な面はありますが、ひそかに予選さえ通れば「優勝」を狙えるのではないかと考えています。インターハイ出場を逃した悔しさを、この近畿大会にぶつけます。応援、宜しくお願いします!

汎愛高校のみなさん、ありがとうございました。

近畿大会がんばりましょう!



「勝ち負けは重要でない」と言った人は、おそらく皆負けている。